

令和 6 年度 薬剤師確保対策の取組状況について

保健医療部医療局薬務課

1 課題

厚生労働省から発表された薬剤師偏在指標において、本県の病院薬剤師は 0.67（全国 39 位）と示され、地域的な偏在と業態（薬局、病院）の偏在が明らかになり、特に病院薬剤師の確保が課題である。

2 主な事業

- (1) 学生等に対する経済的支援施策（県事業）の実施
 - ① 修学資金貸与事業（地域枠）
 - ② 奨学金返済支援事業
- (2) 薬剤師の育成支援及び協議の場の設置
「薬剤師卒後研修プログラム部会」設置（R6.5月）
- (3) 病院及び関係団体が一体となった協力体制の構築
「茨城県病院薬剤師確保連絡協議会」の設置（R6.7月）
・病院薬剤師キャリア相談会開催等
- (4) 将来の薬剤師確保に向けた取組
中学生・高校生向け職業体験事業
- (5) 既卒薬剤師の復職・転職支援事業
休職等の薬剤師の復職や他業態からの転職を支援するための研修会等
- (6) 事業の周知・広報
 - ① 高校・大学、関係団体等への周知
○県内高校及び予備校、関東近郊薬学系大学に対し、事業に係る通知及びチラシ送付、高校・大学訪問を実施
○県内病院及び関係団体に対する事業説明会の開催、団体会報紙による周知
 - ② 県民（既卒薬剤師等含む）への周知
県広報紙ひばり、新聞広告、ラジオ県だより、X（旧 Twitter）、県事業紹介動画（YouTube）、県ホームページ等の各種媒体を活用し、広く県民に向けた広報を実施

3 主な実績

- 修学資金貸与事業 : R7 入学予定者 2 名決定（R6.11.1 現在）
- 奨学金返済支援事業 : 対象者 2 名認定（R6.12 月現在）
登録病院 10 病院（R6.12.13 現在）
- 「茨城県病院薬剤師卒後研修プログラムガイドライン」の策定（R6.8 月）
- 病院の卒後研修プログラム承認 : 11 病院（R7.1 月現在）
- 茨城県病院薬剤師確保連絡協議会参加数 : 26 病院、6 団体（R7.1 月現在）
- 広報 : 薬務課ホームページ内に薬剤師確保対策のページを開設（R6.5 月）
県広報紙ひばり（R6.6 月号）、新聞広告（R6.10 月 / 7 社）、
ラジオ県だより（R6.10 月 / 3 日間）
ファミリーマート県内店舗チラシ設置（R6.12 月）
チラシ配布（県内高校、関東近郊大学、関係団体、イベント出展等）
X へのポスト（随時）、説明会等への参加（県立高校、関東近郊大学）
NHK 水戸放送局「いばっちゃんお」出演（R7.1 月）、大学同窓会 HP 等掲載

4 今後の予定

- R7.2.15（土）病院薬剤師キャリア相談会開催（会場：東京都内）
- R7.3 月下旬 中学生・高校生向け職業体験事業（県内 4 箇所）
- R7.3 月中 復職・転職支援研修会（県内 2 箇所）
- R7.3 月＜広報＞ファミリーマート県内店舗チラシ設置、県広報紙ひばり 4 月号

令和7年度 薬剤師確保対策の取組予定について

保健医療部医療局薬務課

令和6年度に引き続き、以下の事業を実施予定

1 主な事業

- (1) 学生等に対する経済的支援施策（県事業）の実施
 - ① 修学資金貸与事業
 - ② 奨学金返済支援事業
- (2) 薬剤師の育成支援及び協議の場
「薬剤師卒後研修プログラム部会」の開催
 - ・病院から提出された病院薬剤師卒後研修プログラムの審査
- (3) 病院及び関係団体が一体となった協力体制の構築
「茨城県病院薬剤師確保連絡協議会」の運営
 - ・病院薬剤師キャリア相談会開催等
- (4) 将来の薬剤師確保に向けた取組
中学生・高校生向け職業体験事業
大学薬学部体験事業
- (5) 既卒薬剤師の復職・転職支援事業
休職等の薬剤師の復職や他業態からの転職を支援するための研修会等
- (6) 事業の周知・広報
 - ① 高校・大学、関係団体等への周知
 - 県内高校及び予備校、関東近郊薬学系大学に対し、事業に係る通知及びチラシ送付、高校・大学訪問を実施
 - 各関係団体の会議及び会報紙による周知
 - ② 県民（既卒薬剤師等含む）への周知
県広報紙ひばり、新聞広告、ラジオ県だより、X（旧 Twitter）、県事業紹介動画（YouTube）、県ホームページ等の各種媒体を活用し、広く県民に向けた広報を実施

(注意)

この資料に記載の事業は、令和7年度予算成立後に取り組む予定のものです。

参 考

《 薬剤師の現状と課題 》

- 令和5年6月に厚生労働省が公表した本県の薬剤師偏在指標(※)によると、病院薬剤師は0.67と「薬剤師少数県」に区分

$$\text{※薬剤師偏在指標} = \frac{\text{薬剤師の実際の労働時間(供給)}}{\text{薬剤師の必要業務時間(需要)}}$$

【薬剤師偏在指標】

<厚生労働省2023年6月公表>

茨城県	
全体(病院+薬局) 0.90(全国26位)	
病院薬剤師 0.67 (全国39位)	薬局薬剤師 0.99 (全国20位)

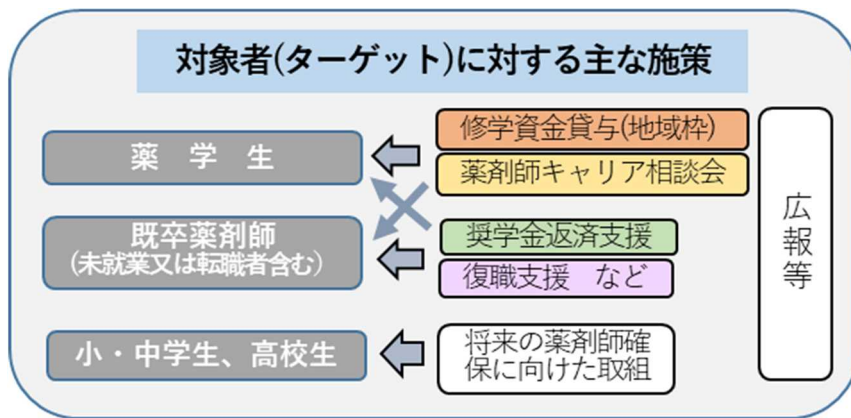
※目標指標:「1.0」

- 現在、県内の9保健医療圏中、つくば、取手・竜ヶ崎以外の7医療圏が病院薬剤師少数区域に該当し、今後何も対策を取らないと、将来(2036年)、8保健医療圏が病院薬剤師少数区域になるとの見込み

【薬剤師偏在指標(茨城県)】 令和5年6月 厚生労働省公表

区域 (二次保健医療圏/県)	薬局		病院		薬剤師少数 都道府県・区域
	現在	将来 (R18) (2036年)	現在	将来 (R18) (2036年)	
水戸	1.05	1.20	0.73	0.73	該当(病院薬剤師)
日立	0.93	1.20	0.64	0.70	該当(病院薬剤師)
常陸太田・ひたちなか	0.91	1.10	0.54	0.58	該当(病院薬剤師)
鹿行	0.75	0.89	0.52	0.55	該当(病院薬剤師)
土浦	0.99	1.21	0.55	0.59	該当(病院薬剤師)
つくば	1.47	1.42	0.97	0.84	
取手・竜ヶ崎	0.91	1.06	0.75	0.74	※将来のみ該当
筑西・下妻	0.90	1.13	0.46	0.51	該当(病院薬剤師)
古河・坂東	1.01	1.21	0.55	0.58	該当(病院薬剤師)
茨城県	0.99	1.16	0.67	0.68	該当(病院薬剤師)

- 各対象者に対する主な施策の位置付け(イメージ図)



- 第8次茨城県保健医療計画における薬剤師確保関連の目標数

目標項目	現状	目標値
県内の病院薬剤師数	1,036人 (令和2(2020)年)	1,181人 (令和12(2030)年)
		※最終目標は令和18(2036)年までに1,327人